

府教委は校長や教職員の声を無視して給与差別を拡大するな！

新勤評反対訴訟団ニュース

第37号

2010年11月8日
新勤評反対訴訟団事務局 井前弘幸
〒530-0047
大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル1F
TEL 06-6311-1250
shinkinpyouhanta@trad.ocn.ne.jp

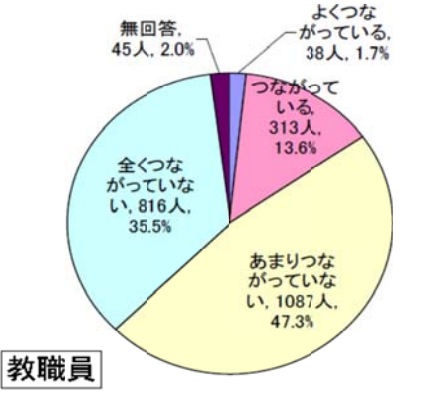
校長も教職員も圧倒的多数が給与反映を否定しています

大阪府教委は十月二十九日に「評価・育成システムに関するアンケート結果について」を公表しました。(府教委の公表内容は訴訟団のウェブサイト <http://www7b.biglobe.ne.jp/~kinpyo-saiiban/index.html> に掲載しています)。

アンケート結果は府教委の意思と大きくはずれませんでした。府教委は、システムの存続を前提にした設問だけにしてシステム肯定に誘導し、回答者の中で校長の比重を非常に大きくし、一次評価者である高校の教頭まで教職員に組み入れる小細工までしました。しかし、アンケート結果では校長の74・1%、教職員の79・2%という圧倒的多数が「システムによる給与反映は意欲・資質能力の向上につながる」と回答し、システムを根本から否定していることがあきらかになりました。

府教委は、この結果を真剣に受け止めるのではなく、結果を都合のいいようにねじ曲げています。教職員の声だけでなく、システムに苦しむ校長の悲鳴も一顧だにせず切り捨て

【Q5-1 給与反映により、意欲・資質能力の向上につながっていると思うか】



教職員

ています。彼らは橋下知事の命令に忠実に給与差別を一層拡大する提案を行おうとしています。自分たちが実施したアンケートの結果さえ踏みにじる府教委の強引なやり方に現場から批判の声を上げていかなければなりません。

システムの失敗は誰の目にも明らかです

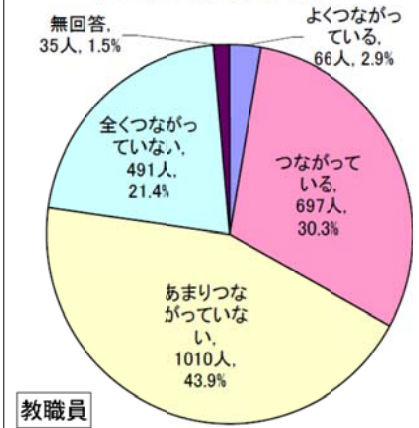
校長も含めた大多数の教職員が給与反映に反対しているだけではありません。評価・育成システムで評価される側の教職員の65・3%がシステムは「意欲・資質能力の向上」に全くつながらない、あまりつながらないと答えています。同様に教職員の68・6%が「学校活性化」などにつながらないと否定的回答でした。つまり、システムは本来

「評価・育成システム」と給与反映は直ちに廃止せよ

「結果について」の一番ひどい点は教職員と校長の生の声をほとんど全部切り捨てたことです。自由記述欄はたくさん意見で埋め尽くされています。教職員はこのシステムがいかに教職員の協力関係を破壊し、同僚や校長への不信を増幅し、教育活動をダメにしているかを具体的に書いています。

特に校長の書いたものはシステムで評価する側の苦しみや悲鳴に溢れています。無理なシステムの遂行を押しつけられた結果、多くの校長が「公平な評価などできない」「職員の士気を低下させている」「みんな一生懸命やっているのに無理に差を

Q1-2 システムは意欲・資質能力の向上につながっているか



教職員

の目的から言えば全く役に立っていないのです。府教委は校長の約六割が「つながっている」と肯定的回答をしたことを強調していますが、校長は評価する側ですからシステムを肯定するのは当然です。それでも校長の四割近くが否定的に答えています。

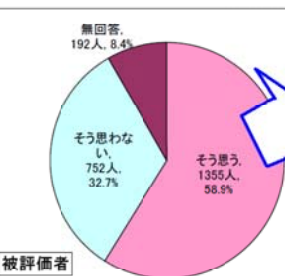
給与格差の拡大はアンケートのねじ曲げです
府教委は「給与に反映すること

アンケート結果に従えば制度廃止しかありません

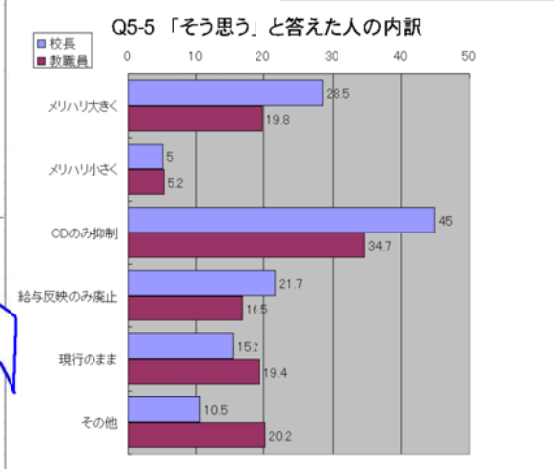
ついては、評価者・被評価者ともに意欲や資質能力の向上には、あまりつながっていないと否定的であるが、頑張った者とそうでない者に給与差を設けるべきであると考えている」と結果をまとめ、回答者の意図を全くねじ曲げています。この解釈を根拠に橋下知事の「格差を広げ競争させれば、頑張るに違いない」という給与差別拡大策を押しつけるつもりです。しかし、Q5-5「頑張った者とそうでない者に差を設けるのは適切か」で「そう思う」と答えた人の考えは、府教委の格差拡大とは全く違うものです。その証拠に、「そう思う」と答えた者のうち、府教委の望む「メリハリを大きく」と答えたのは校長の28・5%、教職員の19・8%にすぎません。「そう思う」と答えた者も大半は現行システムの給与反映に反対、あるいは格差縮小を求めているのです。

【Q5-5】ががんばった人とそうでない人に給与差を設けるのは適切だと思いますか。

たしかに6~8割の人が「そう思う」と答えたが、「給与反映のメリハリを大きく」と考える人は2~3割にすぎない。



被評価者



これでええんか橋下「教育改革」
新勤評を許さない12・19全国集会
あかんやろ！

日時 2010年12月19日(日) 場所 大阪府中之島中央公会堂・大ホール
主催 全国集会実行委員会(連絡先訴訟団) 協力券 1000円

全国集会の成功に向けた府立高校教職員集会
11月20日(土)午後1時 市民交流センターひがしよどがわ401